

水稲早生品種「なつほのか」を認定品種に採用しました！

【研究のポイント】

〈課題〉夏期の高温による「ヒノヒカリ」の収量・品質低下

大分県は「ヒノヒカリ」が水稲作付面積の75%を占めており、近年夏期の高温による白未熟粒の発生や登熟不良により、収量や品質の低下が問題となっています。また、令和元年・令和2年と2年連続の作柄不良により、生産側と流通側の双方から「ヒノヒカリ」に代わる新品種の導入の要望が高まっていました。



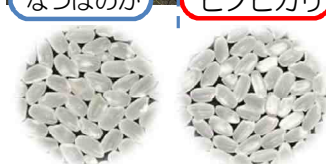
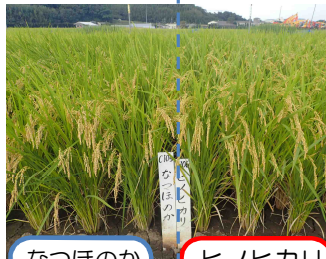
〈解決策〉暑さに強い早生品種「なつほのか」を選定

品種選定試験において、有望と判定した早生品種「なつほのか」を認定品種として採用し、「ヒノヒカリ」の課題を解決し、水稲の収量と品質の安定により生産者の所得向上を目指します！

【研究の成果】

「なつほのか」について

- ・鹿児島県農業開発総合センターにおいて育成された多収、高品質、良食味の水稲品種（2015年3月品種登録出願公表）
- ・交配組合せ：西南115号/西海250号(後の「にこまる」)



「なつほのか」の特徴

- ① 出穂期が4日、成熟期が7日程度早い、**早生品種**
- ② 稈長、穂長は同程度、穂数はやや多い。
- ③ 収量は1割程度多収、大粒。
- ④ 品質はやや優れ、**食味は概ね同程度**。
- ⑤ **高温耐性に優れ**、倒伏に強い。

\*6/25頃移植の「ヒノヒカリ」と比較

調査データ(水田農業グループ, 宇佐市)

移植期	品種名	出穂期 月.日	成熟期 月.日	稈長 cm	穂長 cm	穂数 本/m <sup>2</sup>	玄米重 kg/10a	同左 対比ヒノ %	千粒重 g	倒伏程度	検査等級 1.85mm	特性検定			
												含有率 %	玄米 %	味度 値	総合 食味 官能 値
早植 6/10頃	<b>なつほのか</b>	<b>8.14</b>	<b>9.25</b>	<b>86</b>	<b>20.1</b>	<b>363</b>	<b>649</b>	<b>112</b>	<b>22.7</b>	<b>0.0</b>	<b>1下</b>	<b>6.8</b>	<b>78</b>	<b>-0.03</b>	
	ヒノヒカリ	8.20	10.04	91	20.0	379	580	100	21.8	0.3	2上	6.6	73	-0.33	
標準植 6/25頃	<b>なつほのか</b>	<b>8.23</b>	<b>10.08</b>	<b>84</b>	<b>20.0</b>	<b>410</b>	<b>641</b>	<b>108</b>	<b>23.2</b>	<b>0.5</b>	<b>2上</b>	<b>6.8</b>	<b>84</b>	<b>-0.13</b>	
	ヒノヒカリ	8.27	10.15	87	19.6	391	594	100	21.4	0.9	2下	6.7	78	基準	

注1)表中の値は、早植が4か年(2015~2017、2020)、標準植は6か年(2013~2017、2020年)の平均値。  
 注2)玄米重の篩い目は1.7mm。玄米重、千粒重、玄米タンパク質含有率は水分14.5%換算値。  
 注3)倒伏:0(無)、1(微)、2(少)、3(中)、4(多)、5(甚)

【生産者の声】



今年度、なつほのかの実証栽培を行ったところ、栽培しやすく、**ヒノヒカリより収量・品質が優り**、粒が大きく、甘みと粘りがあり、美味しかったです。収穫時期が早く、**作期分散**ができるため、作業面でも助かりました。また、後作で麦を栽培しているため、早めに麦の作業に取りかかることができました。来年も栽培し、作期分散を図っていきたいと考えています。

国東市 株式会社 273 小玉 信行 氏 (写真左)  
 小玉 綱美 氏 (写真右)

【連絡先】

担当：農林水産研究指導センター 農業研究部 水田農業グループ 水田農業チーム  
 TEL：0978-37-1160（問い合わせは企画指導担当へ）  
 住所：大分県宇佐市大字北宇佐65